



2026年6月22日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

株式会社 cosmobloom

## 宇宙空間のサステナビリティ実現に向けて SOMPOとcosmobloomが協業開始

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）、SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中村 隆久、以下「SOMPOリスク」）および株式会社 cosmobloom（代表取締役 CEO：福永 桃子、以下「cosmobloom」）は、スペースデブリ（宇宙ごみ）削減による持続可能な宇宙空間の創出に関わる合意書を締結しました。

SOMPOリスクは「宇宙ビジネス支援サービス」のソリューション拡充の一環として cosmobloom のデオービット装置（軌道離脱装置）<sup>※1</sup>を普及させることで、軌道上のリスク低減を図り、さらなる宇宙ビジネスの発展に貢献します。

※1 デオービット装置（軌道離脱装置）：運用の終了した人工衛星やロケットを地球の大気圏に早期に突入させ軌道上から確実に除去するための装置。

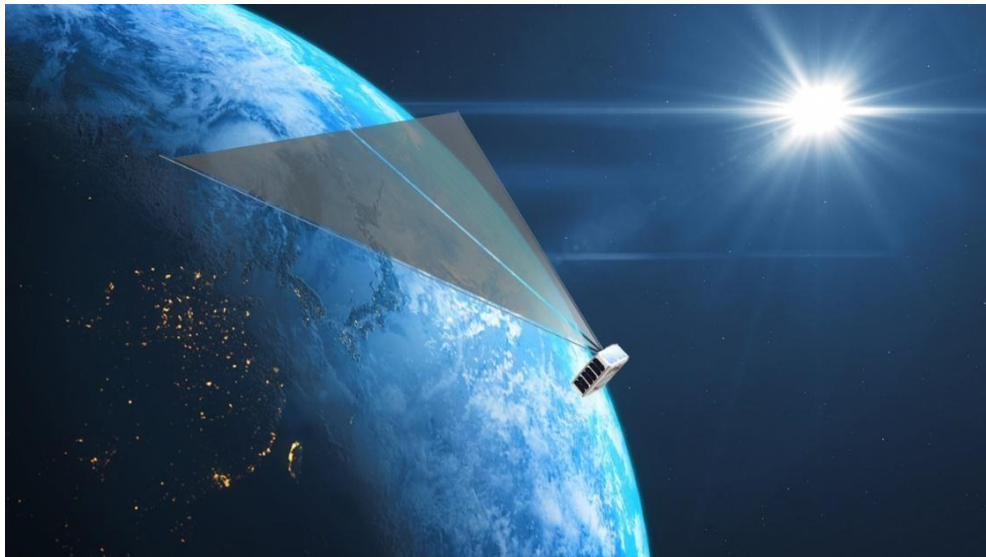
### 1. 背景

国内外の宇宙産業は、政府による積極的な民間企業の参入促進等の支援もあり、著しく成長しています。その中でも、人工衛星は地上の様々な社会課題の解決に資するテクノロジーとして注目を集めています。その反面、宇宙産業の成長とともに軌道上の小型人工衛星の数は急増しており、スペースデブリ（宇宙ごみ）の増加や、他の人工衛星との衝突リスクが高まっています。そのため、今後打ち上げる小型人工衛星を運用終了後に安全かつ確実に軌道から除去することは、持続可能な宇宙空間の利用を実現するうえで重要な課題となっています。

現在、低軌道を周回する小型衛星の軌道離脱を促すデオービット装置の開発が世界各国で進められていますが、それらのサイズや質量は依然大きいことから小型人工衛星に搭載するうえでの支障となっています。cosmobloom のデオービット装置は小型軽量でありながら、展開する膜の面積が大きいことから高い軌道離脱能力を有しています。同社のデオービット装置は、2025年11月時点で地上での開発を完了しており<sup>※2</sup>、今後は軌道上での動作実証が予定されています。

SOMPOリスクは、2023年11月から宇宙関連の事業者や企業向けに「宇宙ビジネス支援サービス」を提供しています。本サービスでは宇宙ビジネスへの新規参入に取り組む事業者や、すでに人工衛星の設計開発に取り組む事業者に対して、リスクの分析や対策方法に関するコンサルティングを提供しています。

損保ジャパンは、宇宙関連事業者へロケットや人工衛星の輸送、打上げ時のリスクをカバーする「宇宙保険」の提供を通じて、宇宙ビジネスのリスクに対するソリューションを提供しています。さらに、各企業との対話を通じて宇宙空間のリスクを検討し、様々な宇宙プロジェクトをサポートする取組みを加速しています。



cosmobloom 社 デオービット装置（イメージ）

※2 cosmobloom、デオービット装置「LEAF」の開発を完了

(URL : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000148294.html>)

## 2. 協業の概要

損保ジャパン、SOMPOリスクおよびcosmobloomの3社の知見を活用し、小型人工衛星のデブリ化リスクに対する高度な分析に取り組みます。可視化されたリスク評価の結果は、主に小型人工衛星の運用事業者へデオービット装置の重要性や意義を伝えていくために活用します。

さらに3社の知識、経験、技術、ネットワークを活用し、日本の衛星事業者の運用する小型人工衛星がスペースデブリ（宇宙ごみ）となるリスクに備えるソリューションを開発し、成長著しい宇宙産業に取り組む事業者の方々に安心・安全をお届けすることを目指します。

## 3. 今後の展開

損保ジャパンは、宇宙活動におけるリスク実態の把握に基づく保険の開発・提供にも活かしていきます。SOMPOグループは、今後より多くの企業・団体との連携を検討しサービス拡充に努めることで、宇宙産業のさらなる発展に貢献していきます。

SOMPOリスクはcosmobloomと連携した「宇宙ビジネス支援サービス<sup>※3</sup>」の展開を通して、宇宙事業者のミッション成功をサポートします。

cosmobloomは、衛星への搭載性に優れたデオービット装置の信頼性向上および実用化を進め、持続可能な宇宙利用の実現に向けて取り組んでいきます。

さらに3社は、宇宙空間のサステナビリティの促進に向けて今後より多くの企業・団体との連携も検討します。

※3 宇宙ビジネス支援サービス：小型人工衛星開発時の技術的な相談に対応するとともに、お客さまのプロジェクトを成功に導くという視点からリスクを抽出し、そのリスク解消に向けた取組みを総合的に支援するSOMPOリスクのサービスです。(URL : <https://www.sompo-rc.co.jp/services/view/508>)。

<主なコンサルティングメニュー>

- ・ 設計・製造等の専門知識を必要とする技術面での相談
- ・ 衛星開発プロジェクト等におけるリスクの現状分析・課題の抽出
- ・ リスク対策の提案と実行支援

<コンサルティングの特長>

- ・ 衛星開発を長年経験してきたエンジニアが、衛星開発事業者の実情を踏まえた的確な助言を提示します。
- ・ プロジェクトメンバーの一員として加わり、開発伴走型でプロジェクト支援を行います。
- ・ 損保ジャパンが提供する宇宙保険等を通じたリスクファイナンス面からの支援を行うことが可能です。

■cosmobloomについて

cosmobloomは、2023年に設立された宇宙スタートアップです。同社は、軌道離脱装置の開発をはじめ、様々な宇宙構造物に関わる革新的な技術の研究・製品化に取り組んでいます。特に、軽量で高性能な展開構造や膜面技術を用いた製品開発に注力しており、膜面アンテナなど次世代の宇宙通信インフラに貢献する技術も含め、多様なソリューションを提供しています。また、今後も持続可能な宇宙利用の実現に向けて、宇宙ごみ対策や大型宇宙構造物の実現に寄与する新たな技術開発を推進しています。

会社名 : 株式会社 cosmobloom

本社所在地 : 東京都大田区蒲田五丁目2番7号 Moonshiny 貳番館 301号室

代表者 : 代表取締役 CEO 福永 桃子

URL : <https://cosmo-bloom.com/>

以上